

平成25年度横浜市外国人意識調査報告書がまとまりました！

横浜市では、平成19年3月に「ヨコハマ国際まちづくり指針」を策定し、市内の日本人と外国人が互いの文化を尊重し、暮らしやすく活動しやすいまちづくりを進めています。

こうした中で、横浜市在住外国人の生活意識やニーズを把握し、市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、平成21年度に引き続き、「横浜市外国人意識調査」を実施しました。

平成25年度は、暮らしの満足度、市政への要望、心配ごとのほか、地域活動への参加意向、隣近所とのつき合い方、災害に対する備えなどについても調査しました。

調査の概要

調査対象	5,000人（市内在住外国人のうち満20歳以上の人） （住民基本台帳からの無作為抽出による）
回収数	1,505件
回収率	30.1%
調査方法	郵送によるアンケート形式
調査期間	平成25年7月

結果のポイント

- ① 暮らしの満足度
今の自分の暮らしに『満足』（満足している＋やや満足している）である人は63.9%で、平成21年度調査と比較すると8ポイント以上増加しました。
- ② 地域活動への参加意向
「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対する回答から、71.1%の回答者に地域活動への参加意向があることが分かりました。
- ③ 困っていることや心配なこと
平成21年度に引き続き第一位は『日本語の不自由さ』でした。また、「日本語の不自由さ」と回答した人の日本語学習意向は87.9%と極めて高いことが分かりました。
- ④ 東日本大震災の時、困ったこと
3割の回答者が『母語情報の不足』を挙げています。

意識調査の報告書は下記ホームページからご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kokusai/coexistence/chosa/>

お問合せ先

政策局 国際事業担当課長 内山 幹子 Tel 045-671-2078

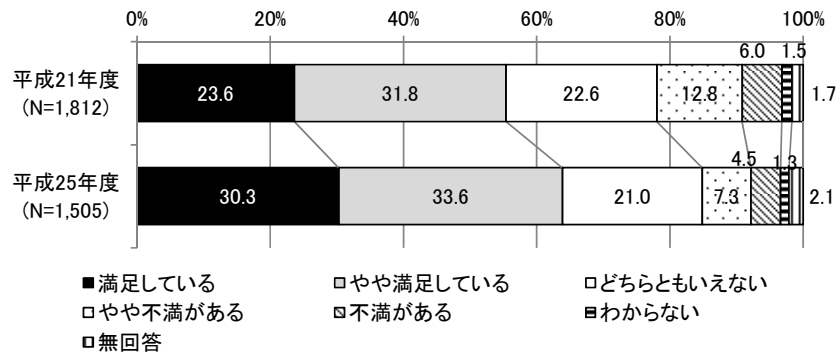
調査結果のポイント

ポイント ① 暮らしの満足度

満足度が6割を超える

前回調査より8ポイント以上増加

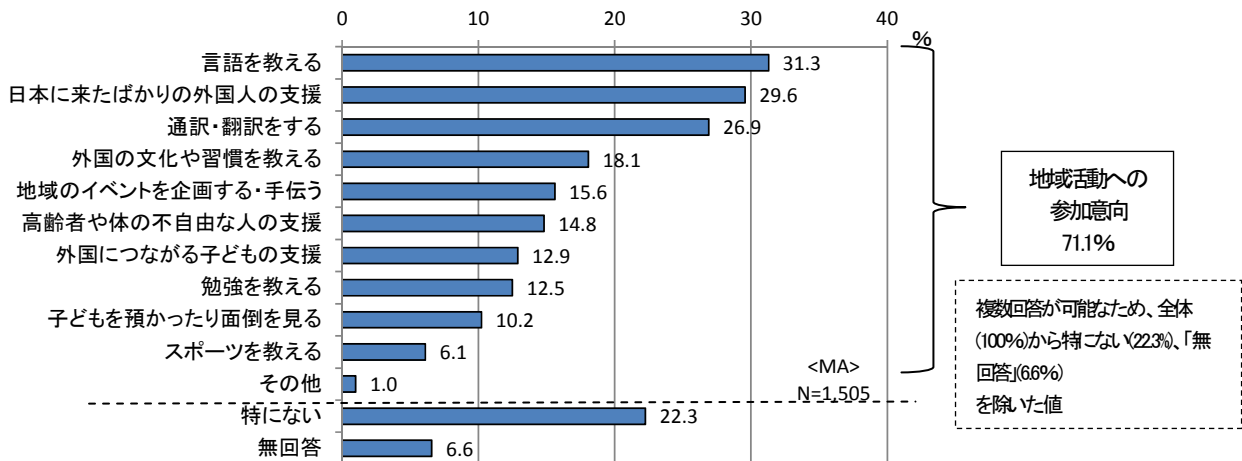
今の自分の暮らしに『満足』（満足している＋やや満足している）である人は63.9%で、平成21年度調査と比較すると8ポイント以上増加しました。



ポイント ② 地域活動

7割以上に参加意向あり

「やってみたい地域活動は何ですか」という問いに対する回答から、71.1%の回答者に地域活動への参加意向があることが分かりました。

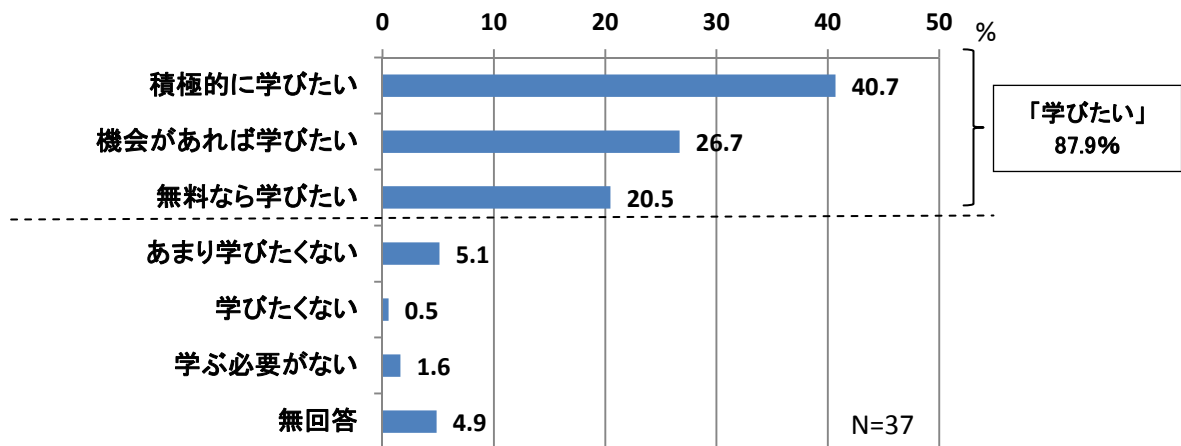


ポイント ③ 困りごと「日本語の不自由さ」が第一位

「困っていることや心配なこと」の第一位は、平成 21 年度に引き続き『日本語の不自由さ』でした。また、「日本語の不自由さ」と回答した人の日本語学習意向は 87.9%と極めて高いことが分かりました。

順位	項目	平成 25 年度	平成 21 年度(順位)
1	日本語の不自由さ	24.7%	30.6%(1)
2	仕事探し	16.7%	27.6%(3)
3	病院・診療所に外国語のできる人がいない	14.4%	17.5%(6)
4	税金	14.1%	27.8%(2)
5	外国語の通じる病院・診療所の探し方	13.6%	14.6%(7)

「日本語の不自由さに困っている人」の日本語の学習意向



ポイント ④ 東日本大震災時に困ったこと 母語による情報の不足が3割

「東日本大震災の時、困ったこと」として、3割の回答者が『母語情報の不足』を挙げています。

